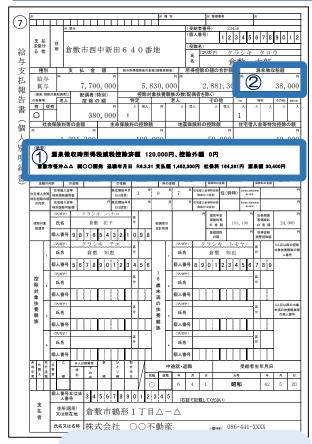
# 定額減税の記入のポイント

# 令和6年度は定額減税が実施されています。 国税庁作成の「令和6年分年末調整のしかた」および 「令和6年分所得税の定額減税Q&A」をご確認のうえご記入ください。





記載内容は令和7年度実施 の不足額給付の計算に使用 されます。ご記入の際は記載 方法をよくご確認ください。

## ①「摘要」欄への定額減税額等の記載について

実際に控除した年調減税額を「源泉徴収時所得税減税控除済額×××円」と記入。

年調減税額のうち年調所得税額から控除しきれなかった金額を「**控除外額**×××円」と記入。 (控除しきれなかった金額がない場合は「控除外額O円」と記載します。)

合計所得金額が1,000万円超である居住者の同一生計配偶者(以下「非控除対象配偶者」といいます。)分を年調減税額の計算に含めた場合には、上記に加えて「非控除対象配偶者減税有」と記載してください。

#### 記載例1:年末調整を行った一般的な場合

(摘要)

源泉徵収時所得税減税控除済額 ×××円、控除外額 ×××円

## 記載例2:非控除対象配偶者分の定額減税の適用を受けた場合

|(摘要)

源泉徵収時所得税減税控除済額 XXX円、控除外額 XXX円 非控除対象配偶者減税有

# 記載例3:非控除対象配偶者が障害者に該当する場合

【惆安

源泉徴収時所得税減税控除済額 ×××円、控除外額 ×××円減税有 倉敷 花子(同配)

## ②「源泉徴収税額」欄

定額減税を行っている場合、源泉徴収税額には定額減税後の税額を記入してください。